

2. 事業の概要と成果	
(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)	ハザン省、ライチャウ省の対象地域に暮らす少数民族の若者が収入を向上させていくための環境が整備され、若者が収入を増加させる。 3年事業の1年目として、研修センター3施設が完成し、地域の若者や住民が主体となって維持管理を行っている。これらは各コミュニティの若者をはじめとした住民が情報収集やミーティングのために活用しており、少数民族の若者が収入を向上させていくための環境が一部整備された。事業の成果を測るためのインタビューを通して、これまで伝統的な栽培・飼育方法に頼っていた若者たちがより専門的な知識を身につけ、技術を向上させていることが確認されている。これにより、若者の収入増加につながっていくことが期待される。 ハザン省、ライチャウ省の対象地域で少数民族の若者が職業訓練を受けられる施設が整備され、若者が農業や畜産業に関する知識や技術を向上させる。 研修センター3施設の建設および備品支給を行った。完成したセンターは各コミュニティに譲渡し、適切な維持管理が行われるよう維持管理トレーニングを実施した。また、生計向上トレーニング、経営スキルトレーニング、ジェンダー平等トレーニングを通して、少数民族の若者が農業や畜産業に関する知識および技術を向上させることができた。生計向上トレーニング後の事後テストで正解率80%以上だった受講者は84.5%に上った。世帯経済の管理に参加するようになった女性はハザン省では51%、ライチャウ省では53%増えた。
(2) 事業内容	ハザン省およびライチャウ省の13のコミュニティにおいて以下の活動を実施した。 <u>1. 若者の生計向上能力強化</u> 1. 1. 生計向上トレーニング 1. 1. 1. トレーニングマニュアルの開発 トレーニングマニュアルの開発にあたり、トレーニングを行う対象となる生産活動のコースを特定するため、15歳～30歳の若者を対象にニーズ調査を行った。ニーズ調査はプラン・インターナショナル・ベトナムが過去に実施した類似案件の完了時評価などの二次データ分析に加えて、当団体が作成したアンケートを用いて実施した。アンケートの内容は以下の通り。 - 民族 - 性別 - 障害の有無 - 世帯収入 - 教育・職業訓練の経歴 - 雇用状況 - 関心のある農畜産物 調査の結果を踏まえ、郡内で若者のニーズが最も高く、地域の特性を生かすことができ、女性も参加しやすい農業および畜産のコース

(ハザン省では養豚(繁殖用)、養豚(食用)、有機野菜、プラム、梅、ライチャウ省では養蜂、養鶏、大豆栽培、ピーナッツ栽培)を各コミュニティの地域特性に応じて選定した。トレーニングマニュアルは、郡農業開発局および郡農業サービスセンターの協力を得ながら作成し、郡女性連合や郡若者連合、研修参加者のインプットを得て最終化した。

1. 1. 2. 農業および畜産技術トレーニング

ハザン省およびライチャウ省において受講生を公募した後、対象者特定のため15歳～30歳の若者を対象にヒアリング調査を行い、トレーニングへの参加意思や属性などを確認して受講生を特定した。

ハザン省では、2021年7月末まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインにより、集会の人数や移動が厳しく制限されていた。そのため規制が一部緩和された2021年8月15日～18日に、郡農業農村開発局、郡女性連合、郡若者連合とともにヒアリング調査を通して受講希望者の特定を進めた。その結果、受講生640人(女性396人(62%)、男性244人)が選ばれた。受講生の100%が少数民族(ヌン、モン、タイ、ダオ、ラチ)の出身である。また0.4%は障害があると自認している。

ライチャウ省では、フォントー郡ザオサンコミュニティ、バンランコミュニティ、コンラオコミュニティにおいて、郡農業サービスセンター、郡女性連合、郡若者連合とともに、各コミュニティでヒアリング調査を目的とした10人以下の集会を実施し、受講者の応募を募った。2021年8月15日～9月2日に15歳～30歳までの受講生400人(女性260人(65%)、男性140人)が選ばれた。受講生の3.5%が障害があると自認しており、4.5%は障害がある家族がいる。また、応募者の65%が、世帯月収1,500,000 VND(約65ドル)以下であった。

ハザン省では、2021年10月11日～2021年12月29日に、受講生640人に対して養豚(繁殖用)、養豚(食用)、有機野菜、プラム、梅の5つのコースの技術トレーニングを座学2日間、実演指導1日間実施した。このトレーニングは、8コミュニティで32クラス(農業クラス16、畜産クラス16)に分かれて実施した(各コースの受講生の内訳は以下表の通り)。実演指導後、2021年11月～2022年2月に、実際の畑や家畜を使って行う実践指導を実施した。講師は郡農業農村開発局職員が担当した。

コース	女性	男性	計
1. 養豚(繁殖用)	115人	65人	180人
2. 養豚(食用)	83人	57人	140人
3. 有機野菜	146人	74人	220人
4. プラム	34人	26人	60人
5. 梅	18人	22人	40人
計	396人	244人	640人

(コミュニティ毎の内訳は別添1参照)

ライチャウ省では、2021年8月30日～10月18日に、受講生400人に対して養蜂、養鶏、大豆栽培、ピーナッツ栽培の4つのコースの技術トレーニングを座学2日間、実演指導1日間で実施した。このトレーニングは、5コミュニティで23クラス(農業クラス8、畜産クラス15)に分かれて実施した(各コースの受講生の内訳は以下表の通

り)。実演指導後、2021年9月～11月に実践指導を実施した。講師は郡農業技術サービスセンター職員が担当した。

コース	女性	男性	計
1. 養鶏	113人	34人	147人
2. 養蜂	39人	96人	135人
3. 大豆栽培	39人	9人	48人
4. ピーナッツ栽培	69人	1人	70人
計	260人	140人	400人

(コミュニケーション毎の内訳は別添1参照)

受講生たちは、技術トレーニングを通じて、各コースの農産物の生産方法および畜産方法の基礎を学んだ。なお、畜産クラスについては、技術トレーニングをより円滑、かつ、効果的に進めていく上で資機材が不足していることが分かった。受講者の技術習得を進め、トレーニングの質を高めるために、養豚電動飼料精製機、デモンストレーション飼育用豚、鶏の孵化器、飼育トレーニング用ひよこ（鶏飼料、ワクチン、飼育用品含む）を追加で支給した（事業変更承認申請3号）。

1. 1. 3. まとめワークショップ

技術トレーニング終了後、各コミュニケーションで農業および畜産技術トレーニングの受講生が、コースごとに学びや経験を共有するためのワークショップを開催した。ハザン省では、2022年1月23日～2月22日に計16回（2クラス×8コミュニケーション）のワークショップを開催。郡農業農村開発局職員が講師となり、技術トレーニングの受講生、コミュニケーションリーダー、郡若者連合、プラン・インターナショナル・ベトナムの職員など、計735人（女性362人、男性373人）が参加した。

ライチャウ省では、2021年12月20日～2022年1月13日に計10回（2クラス×5コミュニケーション）のワークショップを開催。農業サービスセンター職員が講師となり、技術トレーニングの受講生および地方行政職員、プラン・インターナショナル・ベトナムの職員など、計499人（女性311人、男性188人）が参加した。ワークショップでは、現場視察を通じて、受講生が生産した農作物や畜産物の良い点、悪い点について学び合い、今後の活動に活かした。

1. 2. 経営スキルトレーニング

1. 2. 1. 会計知識トレーニング

ハザン省では、2021年11月19日～12月8日に、農業および畜産技術トレーニングの全受講生640人（女性396人、男性244人）、ライチャウ省では、2021年11月21日～2022年1月27日に全受講生400人（女性260人、男性140人）を対象に、会計知識トレーニングを実施した。財務・会計講座の講師経験がある郡女性連合職員が講師となり、家計簿の付け方、収益と利益の計算原則、生産計画の策定方法、地域の農業銀行や村の共済システムへの貸付申請の方法、貸付を受けた場合の返済計画の作成、政府による経済支援の施策などについて指導した。

1. 2. 2. マーケティング知識トレーニング

ハザン省では、2021年11月22日～12月18日に農業および畜産技

	術トレーニングの全受講生 640 人（女性 396 人、男性 244 人）、ライチャウ省では 2021 年 11 月 19 日～2022 年 1 月 24 日に全受講生 400 人（女性 260 人、男性 140 人）を対象に、マーケティング知識トレーニングを実施した。マーケティング講座の講師経験がある郡女性連合職員が講師となり、市場調査の方法、国および省の市場の状況、ソーシャルメディアを利用したビジネス、Facebook の活用方法などについて指導した。 1. 2. 3. 環境保護知識トレーニング ハザン省では、2021 年 10 月 21 日～2022 年 1 月 8 日に農業および畜産技術トレーニングの全受講生 640 人（女性 396 人、男性 244 人）、ライチャウ省では、2021 年 11 月 15 日～11 月 25 日に全受講生 400 人（女性 260 人、男性 140 人）を対象に、地域の自然環境を破壊することなく、生産活動を実施できるよう環境保護知識トレーニングを実施した。ハザン省では、郡農業農村開発局職員、ライチャウ省では農業サービスセンター職員が講師となり、肥料を合理的に使用する方法、動物の排泄物や有機ゴミからバイオ肥料を作る技術、マメ科植物から緑肥を作る技術、畜産における廃棄物処理と養鶏におけるバイオパッドの使用方法、微生物肥料である赤虫の飼育方法などについて指導した。 1. 2. 4. コンピュータ・スキルトレーニング ハザン省では、2021 年 12 月 30 日～2022 年 1 月 23 日に農業および畜産技術トレーニングの受講生のうち希望した 160 人（女性 80 人、男性 80 人）、ライチャウ省では、2022 年 1 月 25 日～27 日に 100 人（女性 63 人、男性 37 人）を対象に、2 日間のコンピュータ・スキルトレーニングを実施した。 ハザン省ではコンピュータ技術を取得した学校の教師、ライチャウ省ではコンピュータ講座の講師経験がある郡若者連合職員が講師となり、ワード、エクセル、Eメールの設定と使用方法、インターネットの活用方法など、コンピュータに関する基礎知識を指導した。受講生はコンピュータで家計の収入・支出を管理すること、生産した農産物や畜産物をオンラインで販売する方法について理解を深めることができた。 1. 3. 若者の起業支援 1. 3. 1. 市場調査および経営指導を行う商品の特定 外部コンサルタントの入札にあたり、委託する市場調査の内容を検討した。決定した内容は以下の通り。 - 対象地域で生産できる加工食品の特定 - 特定された加工食品で起業するための手順の明記 - 対象地域で起業する際の特記事項の明記 - 対象地域に住む少数民族の女性、特に若い女性がトレーニングの受講や起業ができない要因の特定 - 対象地域における指導員（地域にて起業経験があり、事業を成功させている人物）の特定 2021 年 7 月に市場調査を開始する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限が緩和されなかったことから実施時期の見直しを行い、8 月に入札を告示し、コンサルタントチームを決
--	---

	定した。2021 年 9 月以降、コンサルタントチームは、省、郡、コミュニケーションレベルの政府職員、農業および畜産技術トレーニングの受講生などから情報収集をして市場調査を実施した。調査では以下のツールを使用した： - 省、郡、コミュニケーションレベルの政府関係者へのインタビュー - 若者とのグループディスカッションやインタビュー - バリューチェーンにおける仲介業者へのインタビュー - 季節ごとに地域の旬の食材の分析 - バリューチェーン分析 - 若者が参加する加工食品を選択する際の評価基準 2021 年 10 月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により、コンサルタントチームによる現場調査に遅れが生じた。ハザン省では、2021 年 12 月 13 日～18 日に現場調査を実施できたが、ライチャウ省では実施できなかったため、2022 年 1 月 18 日～26 日にオンライン調査を実施した。コンサルタントチームは、調査で収集したデータを分析し、以下を推奨食品として特定した。 - ハザン省ホアンスフィ郡：黒豚、大豆 - ハザン省シンマン郡：はちみつ、カルダモン、生姜 - ライチャウ省フォントー郡：バナナ、はちみつ、お茶、豚肉 2022 年 2 月に、上記を踏まえ、当団体、プラン・インターナショナル・ベトナム、ハザン省のホアンスフィ郡およびシンマン郡の郡農業農村開発局で協議し、各地域で最も需要が高く、小規模の投入で起業が可能な加工食品を各郡で 2 つ選定した。ハザン省ホアンスフィ郡は黒豚と大豆、シンマン郡は、はちみつと生姜とした。 ライチャウ省フォントー郡では、現在 2 つの食品を選定中である。ライチャウ省の食品の選定は 1 年次事業終了後の活動となった（事業変更承認申請 4 号）。 1. 3. 2. トレーニング・モジュールの開発 2022 年 2 月に、当団体、プラン・インターナショナル・ベトナム、ハザン省のホアンスフィ郡およびシンマン郡の郡農業農村開発局およびライチャウ省のフォントー郡の農業サービスセンターとともに、1. 3. 1. で特定した加工食品のトレーニング・モジュールの開発を開始し、2 年次にトレーニング・モジュールを最終化する予定である。2 年次に要する費用は自己資金で実施する（事業変更承認申請 4 号）。 <u>2. 女性の経済活動への参加促進</u> 2. 1. トレーニングマニュアルの開発 トレーニングマニュアルの開発を発注する外部のジェンダーコンサルタントに委託する業務内容を以下の通り決定した。 - 対象地域において優先的に取り組むべきジェンダー課題の特定 - 指導員がトレーニング実施に使用するマニュアルの開発 - トレーナー研修で指導員が使用する資料の作成 - 若者が使用する学習教材の作成 コンサルタントチームは、以下のトピックを含むトレーニングマニ
--	---

	ユアルを開発した。 - ジェンダーと性別の違い - 生計手段における性別役割分担 - 少数民族の若者の生計手段に関するジェンダー別ニーズ - ジェンダーステレオタイプ（男女差別について） - 少数民族の若い男女の自信形成（自己尊重） - 少数民族の若い男女の経済的エンパワーメントの促進 - 経済開発目標を決定するためのスキル - チームワークのスキルと少数民族の女性の生計活動への参加促進 - 地域資源を活用するための計画 2. 2. 若者対象のジェンダートレーニングの実施 <トレーナー研修> 若者対象のジェンダートレーニングの実施にあたり、追加の活動として、外部コンサルタントに委託し、トレーナー研修を実施した（事業変更承認申請2号）。トレーナー研修にかかるコンサルタントへの業務内容は以下の通り決定した。 - トレーナー研修は2省（ハザン省、ライチャウ省）にて実施 - 簡易筆記テストを用いたトレーナー研修前後における参加者の理解の確認 - トレーナー研修の報告書作成 ハザン省では、2021年12月1日～2日および7日～8日に、オンラインでトレーナー研修を実施した。ハザン省ホアンスフィ郡およびシンマン郡の教育訓練局、郡若者連合、郡女性連合、郡農業農村開発局、共同プロジェクト管理委員会などから選ばれた職員、合計28人（女性15人、男性13人）が参加した。 ライチャウ省では、2021年12月13日～17日に同様の研修を実施した。ライチャウ省フォントー郡の教育訓練局、郡若者連合、郡女性連合、郡農業サービスセンター、共同プロジェクト管理委員会などから選ばれた職員、合計33名（女性21人、男性12人）が参加した。 両省とも、ジェンダーコンサルタントが講師となり、ジェンダーの概念、ジェンダー平等、ジェンダーに基づく固定観念や差別、ファシリテーションスキルの実践、研修のデモンストレーション方法などについて指導した。 <トレーニングの実施> トレーナー研修の実施後、郡女性連合と郡若者連合と連携し、若者対象のジェンダー啓発活動を実施した。ハザン省では、2021年12月26日～2022年2月22日に農業および畜産技術トレーニングの全受講生640人（女性396人、男性244人）を対象に、ライチャウ省では、2022年1月7日～2月11日に全受講生400人（女性260人、男性140人）を対象に、ジェンダートレーニングを実施した。 トレーナー研修の参加者が講師となり、ジェンダーに関する基本的な概念、ジェンダー平等促進に向けた解決策やエンパワーメントの重要性などについて、事例を用いながら説明した。受講生は、家計収入を向上させる際に、女性が資金を所有、管理し、その使用について決定する機会を増やすことの大切さについて学んだ。また、家計収入における男女間の格差、地域に根付くジェンダー平等に対する批判的な意見、早すぎる結婚などの課題についても理解を深めた。
--	---

	2. 3. 住民や行政職員対象のジェンダー啓発活動 <公開対話会> 郡女性連合と郡若者連合と連携し、住民や行政職員対象のジェンダー啓発活動を実施した。ハザン省では、2022 年 1 月 19 日～2 月 22 日に、ジェンダー啓発活動（公開対話会）を実施した。コミュニケーションリーダー、3. 2. に後述するユースクラブのメンバー、保護者、農業および畜産技術トレーニングの受講生など、合計 336 人（女性 134 人、男性 202 人）が参加。トレーナー研修の参加者が講師となり、家計における男女間の格差、早すぎる結婚などジェンダー不平等に関する問題について話し合い、解決策を考えた。また、上記の実施日に参加できなかった住民が多くいたことから、2022 年 2 月 23 日～24 日に、郡若者連合の主導で追加の啓発活動（公開対話会）を実施した。郡若者連合、郡女性連合、警察関係者、教師、保護者、ユースクラブメンバー、農業および畜産技術トレーニングの受講生代表、その他住民など計 118 人（女性 57 人、男性 61 人）が参加し、劇を通じて、早すぎる結婚などジェンダー平等の障壁となっている慣習について啓発した。 ライチャウ省では、2022 年 2 月 28 日にジェンダー啓発活動（公開対話会）を実施し、ユースクラブメンバーや住民など合計 40 人（女性 31 人、男性 9 人）が参加。トレーナー研修の参加者が講師となり、少数民族の女性のエンパワーメントを強化するため、若い女性の生計活動の成功体験の共有や、若者が生計を向上させる際に直面する課題について話し合った。また、各コミュニティで活用できる政府による支援策も共有された。ライチャウ省では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、集会が禁止されていたが、対象 5 コミュニティのうち 1 コミュニティは変更承認申請提出後に状況が改善したため実施することができた。残りの 4 コミュニティについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、2 年次に自己資金で実施する（事業変更承認申請 4 号）。 <コミュニティイベント> ハザン省では、2021 年 10 月 22 日～2022 年 2 月 23 日に郡女性連合と郡若者連合と連携し、ジェンダー啓発活動のためのコミュニティイベントを各コミュニティで 3 回ずつ実施した。ユースクラブメンバー合計 225 人（女性 119 人、男性 106 人）に加え、郡女性連合、郡若者連合、警察関係者、保護者、その他住民など 80 人が参加した。 ライチャウ省では、2022 年 2 月 23 日～25 日に同様のイベントを実施し、ユースクラブメンバー合計 75 人（女性 55 人、男性 20 人）が参加した。イベントでは、早すぎる結婚などジェンダー平等の障壁となっている慣習に関する議論、地域で経済的に成功した女性ロールモデルの紹介、男女での家事負担についての話し合いなどを行った。ライチャウ省では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、集会が禁止されていたが、対象 5 コミュニティのうち 1 コミュニティは変更承認申請提出後に状況が改善したため予定していた 3 回中 1 回実施することができた。残りの 4 コミュニティについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、2 年次に自己資金で実施する（事業変更承認申請 4 号）。 <u>3. 若者の収入向上を支援する環境整備</u> 3. 1. 研修センターの建設および備品支給
--	--

3. 1. 1. 研修センターの建設

対象地域の郡人民委員会や地域住民と会合を重ね、研修センター建設地の確定・変更のための調整、各関係者の役割の確認、図面の確認を行い、建設地使用および建設物の許可を取得した。

ハザン省では、研修センターを建設するコミューンをホアンスフィ郡チエンホーコミューンより同郡タンティエンコミューンへと変更した（事業変更承認申請1号）。ホアンスフィ郡人民委員会と会合を行ったところ、当初建設地として提案されていた土地は、コミューン中心部から離れていることや周辺道路状態が悪いことから、建設は困難と判断。その後も調整を進め、土地がすでに確保されているタンティエンコミューンへ変更することで合意を得た。タンティエンコミューンでは、2021年10月29日に着工し、2022年1月17日に研修ルーム、庭、男女別トイレ付の研修センターが完成した。ナムザンコミューンでは、2021年11月8日に着工し、2022年1月22日に同様の研修センターが完成した。地元自治体職員、住民、郡若者連合、受講生の若者代表などが参加し、落成式を実施した。

ライチャウ省ではバンランコミューンにて、研修センターを建設した。2021年8月2日に着工し、12月23日に完成した。2022年1月初旬から、各種研修の会場などとして使用している。研修センターが完成したことで、農業および畜産技術トレーニングの全受講生が、コンピュータやインターネットを積極的に活用し、新しい情報を取得しているほか、生産した農産物や畜産物を展示できるようになった。

現地行政および地域住民の意見を踏まえ、設備が十分に整っていない地域を優先に2年次、3年次に研修センターを建設する予定を立てた。本事業の対象地域残り10コミューンの研修センター建設予定は以下の通り。

省	郡	コミューン
ハザン省	ホアンスフィ郡	2年次予定 チエンホー コミューン バンルオク コミューン トウニャン コミューン 3年次予定 ポロ コミューン
	シンマン郡	2年次予定 タニウ コミューン 3年次予定 ナンマ コミューン
ライチャウ省	フォントー郡	2年次予定 コンラオ コミューン ナムセ コミューン ホアンテン コミューン 3年次予定 ザオサン コミューン

3. 1. 2. 備品の支給

ハザン省およびライチャウ省で、2022年2月28日に、3. 1. 1. で建設した各研修センターで使用する備品を以下の通り支給した。

	- 机（15 台） - イス（15 脚） - テレビ（1 台） - プロジェクター/スクリーン（1 台） - ホワイトボード（1 台） - 書棚（1 台） - 書籍（1 セット） - コンピュータ（1 台） - インターネットルータ（1 台） - メガホン（1 個） - デジタルカメラ（1 個） 農業・畜産技術、経営管理、ジェンダー平等などに関する書籍を置く図書コーナーを整備し、生計向上に携わる若者や他の地域住民が情報収集することができるようになった。また、より多くの受講生が研修センターを快適に利用できるようにするため、各研修センターにコンピュータ（1 台）および書棚（2 台）を追加で支給した（事業変更承認申請 3 号）。 3. 1. 3. 維持管理トレーニングの実施 ハザン省では、2022 年 2 月 28 日に、3. 1. 1. で建設した研修センター（2 か所）の維持管理トレーニングを実施した。コミュニケーション代表者がファシリテーターとなり、プラン・インターナショナル・ベトナムの職員、ユースクラブメンバー代表、教師、住民代表など、合計 36 人（女性 11 人、男性 25 人）が参加した。 ライチャウ省では、2021 年 12 月 23 日に同様のトレーニングを実施し、プラン・インターナショナル・ベトナムの職員がファシリテーターとなり、ユースクラブメンバー代表、住民代表など合計 23 人（女性 12 人、男性 11 人）が参加した。トレーニングでは、研修センターの設備の使用方法、設備の保守、管理、修理方法、維持管理費用に関する規程について説明し、各関係者の役割分担を確認した。 3. 2. ユースクラブの設立および運営 3. 2. 1. 設立および代表対象運営トレーニングの実施 郡若者連合と連携し、ユースクラブを設立した。ハザン省では、2021 年 9 月 20 日～10 月 8 日に、8 つの対象コミュニティでユースクラブを設立。農業および畜産技術トレーニングの全受講生の中から、合計 225 人（女性 119 人、男性 106 人）がメンバーとなった。 ライチャウ省では、2021 年 12 月 10 日～12 月 15 日に、5 つの対象コミュニティでユースクラブを設立。生計向上トレーニングの受講者の中から、合計 100 人（女性 68 人、男性 32 人）がメンバーとなった。各クラブで、会長、副会長、書記、会計を担う 4 人を選定し、クラブの運営規定および活動スケジュールを策定した。今後、四半期ごとにユースクラブ集会を開催し、生計活動について情報共有し、コミュニティをより良い地域にしていくために協力しあっていく。 ユースクラブの設立後、各クラブの代表メンバーに対して運営トレーニングを実施した。ハザン省では、2021 年 11 月 23 日～24 日および 2022 年 1 月 25 日～26 日に、若者連合職員が講師となり、合計 43 人（女性 16 人、男性 27 人）のメンバーに対してトレーニングを実施した。
--	---

	ライチャウ省では、2022 年 2 月 13 日～14 日に合計 33 人（女性 27 人、男性 6 人）のメンバーに対して、トレーニングを実施した。トレーニングでは、リーダーの役割、クラブ目標の立て方、クラブ運営計画の作り方、クラブ集会の開催方法などについて指導した。 3. 2. 2. クラブ集会の開催および運営サポート トレーニング後、郡若者連合と連携し、クラブ集会を開催した。ハザン省では、2021 年 10 月 11 日～2022 年 2 月 11 日に 8 つの対象コミュニティで 3 回の集会を開催し、生計活動を実施する上での課題、活用できるコミュニティ内外のリソースの確認、生計活動の成功事例について協議した。 ライチャウ省では、2022 年 2 月 21 日～28 日に 5 つの対象コミュニティで 3 回の集会を開催し、2. 1. で開発したトレーニングマニュアルを活用し、ジェンダー平等について学んだり、研修センターの活用方法について共有しあった。 3. 2. 3. 学び合いのためのコミュニティ間視察訪問 郡農業開発局と連携し、ハザン省では、2022 年 1 月 15 日～2 月 16 日に学び合いのためのコミュニティ間視察訪問を 8 か所で実施し、ユースクラブ代表および地方政府職員 174 人（女性 78 人、男性 96 人）が参加した。ライチャウ省では、2022 年 1 月 8 日～1 月 13 日に同様の視察訪問を 5 か所で実施し、ユースクラブ代表および地方政府職員 135 人（女性 92 人、男性 43 人）が参加した。 対象コミュニティの生計活動の成功事例として、ぬか床プレス機による豚の飼育、家畜の餌となる赤虫の飼育、有機肥料、有機野菜、イチゴの植え付けなどを視察した。
(3) 達成された成果	1. 若者の生計向上能力強化 ● 事後テストで正解率 80%を獲得するトレーニング受講者（目標 80%/各年）：ハザン省 85.7%、ライチャウ省 82.5% <確認方法> ・ トレーニングの事後テストの結果 2. 女性の経済活動への参加促進 ● 世帯経済の管理に参加するようになった女性の増加率（目標 20%/各年）：ハザン省 51%、ライチャウ省 53% （ハザン省では受講者 119 人（396 人中）の女性に、ライチャウ省では 80 人（260 人中）の女性に聞き取り調査を実施した結果） <確認方法> ・ トレーニング受講者リスト ・ ユースクラブ定期集会での調査 ・ コミュニティイベント後の聞き取り調査 ※経済活動に参加し収入を得ているか、家計管理および貯蓄管理における意思決定をもつかなどについて聞き取り調査で確認した ※1 年次で測る指標のみを記載
(4) 持続発展性	1. 若者の生計向上能力強化 トレーニング受講者はコミュニティの集まりや SNS を使って、生計活動の成功例をコミュニティ内外の多くの若者やその他住民に発信することができた。それが彼ら自身の生計活動改善や収入増加の一助となった。また、地方行政と連携して作成した各種トレーニングマニユア

	ルやガイドラインについては、地方行政機関が実施する職業訓練にも取り入れることを推奨し、より多くの若者の能力向上に寄与する土台を構築した。郡農業農村開発局および郡農業サービスセンターの職員とともに全てのトレーニングを企画、実施したことで、職員がトレーニングのノウハウを取得することができた。事業終了後は、このノウハウを地域行政が実施する職業訓練に活かし、地域で実施する職業訓練の質を上げていくことが期待される。 2. 建設した建物の維持・管理方法 当事業で建設した3つのコミュニケーションの研修センターは、完成後、各コミュニケーションに譲渡した。適切な維持管理が行われるようにトレーニングを実施し、コミュニケーションの維持管理責任を明記した引渡書を取り交わした。これに伴い、コミュニケーションは引き渡し後、維持管理にかかる費用を自ら負担するよう予算を確保した。建設された3つの研修センターは、各コミュニケーションの若者をはじめとした住民が情報収集やミーティングのために活用されている。今後、コミュニケーションリーダーやユースクラブメンバーが自ら豊富な経験や知識を持つ地元の人材を講師として動員し、研修を行うことも期待される。 3. 地域行政や経営者による若者への支援強化 当事業の終了後、地元行政による若者主導の経済活動への支援が継続するよう、当事業は主に郡、コミュニケーションレベルの行政機関と連携して実施した。対象となる若者だけでなく、郡農業農村開発局および郡農業サービスセンター、郡女性連合、郡若者連合の職員を講師や指導員として積極的に巻き込むことで、彼らの能力を強化することができた。これにより指導能力の向上に加え、若者、特に女性の生計活動への理解を深め、より有効で効率的な若者への技術的、経済的支援が継続して行われる環境を構築することができた。
--	---